

NEWS RELEASE

「おくすり保険は必要」が7割超。 9 疾病患者9,067名の声

住友生命グループの一員であるメディケア生命保険株式会社（取締役社長：石原拓己）は、9 疾病患者※¹の「病気と治療」「お金と仕事」などについて、全国の9,067名にアンケート調査を実施いたしました。

長期間におよぶ薬物治療、就労不安、治療費を含むお金の問題など、9 疾病患者の実態がみえてきました。

※ 1 がん、心疾患、脳血管疾患、動脈・静脈疾患、腎疾患、肝疾患、脾くすい> 疾患、糖尿病、脂質異常症

調査のポイント

病気と 治療

薬物治療、6割超が受ける。治療期間は10年以上となることも。

- ・治療内容としては薬物治療を受けた方が66.7%で最も多く、外科療法（手術など）は30.7%でした。
- ・薬物治療期間の上位3つは「10年以上（20.4%）」、「1年以上（17.0%）」、「5年以上（14.5%）」でした。

詳細はP 2～3

お金と 仕事

約3人に1人が年収の減少を経験。就業状況の変化※²も約3割。

- ・治療費およびその他の費用を負担に感じている方が60%を超えています。
- ・労働時間の制限（残業制限含む）を受けた方が10.3%、休職をされた方が9.8%など、約31%の方の就業状況に変化※²がありました。
- ・個人年収、世帯年収が減少した方も36.9%いるという結果となっています。

※ 2 「異動」「労働時間の制限」「依願退職」「解雇」「転職」「休職」のいずれか。

詳細はP 4～5

生命 保険

「おくすり保険は必要」が7割超。5割超が加入中の保険で不足※³。

- ・70%以上の方が生命保険にご加入されていましたが、「給付はなかった方（34.4%）」や、あったとしても十分でなかった方（やや不足21.7%、不足12.7%）が30%を超える結果となっています。
- ・「薬物治療」に対して給付される生命保険（医療保険など）の必要性を感じている方が70%を超える結果となっています。

※ 3 生命保険加入者において、「給付はなかった」「やや不足」「不足」の割合

詳細はP 6～7

ご自身

食事・運動など、生活習慣を改善しておけばよかったとの声が多数。

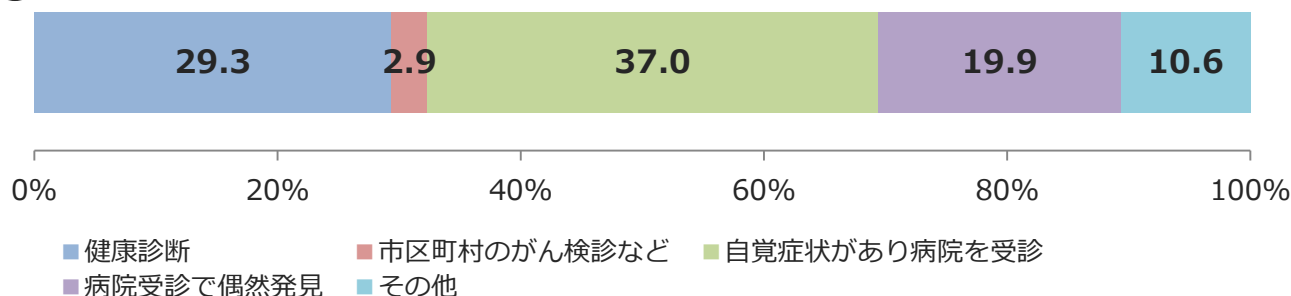
- ・今思うと「やめておけばよかった・やっておけばよかった」「改善すればよかった」と思うことに関しては、生活習慣（食事・飲酒・喫煙・運動）や休養、健康診断の受診、生命保険への加入のいずれもが50%を超える結果となっています。

詳細はP 8～9

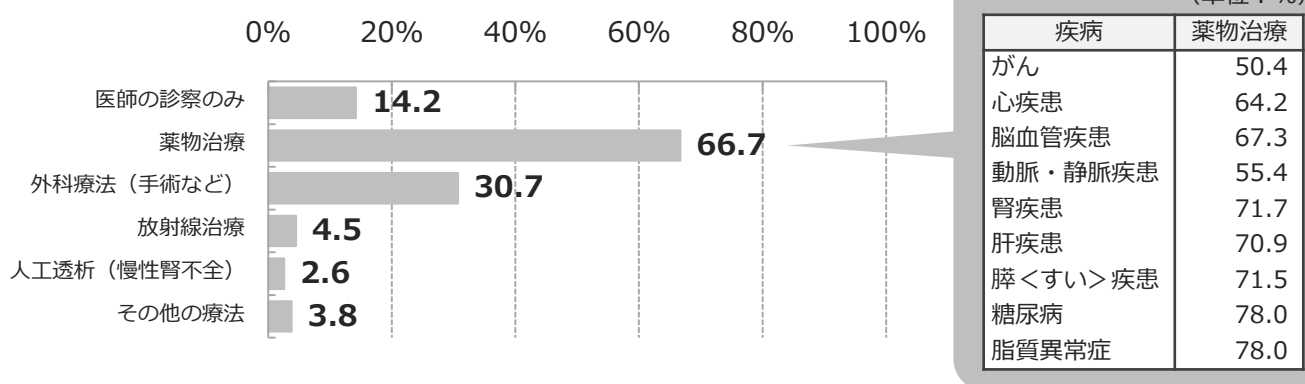
調査結果 | 病気と治療に関すること①

- ・病気の発見経緯は「自覚症状があり病院を受診」が37.0%で最も多く、「健康診断」が29.3%、「病院受診で偶然発見」が19.9%でした。
- ・治療内容としては薬物治療を受けた方が66.7%で最も多く、外科療法（手術など）は30.7%でした。
- ・入院期間の上位3つは「入院したことはない（34.2%）」、「1か月未満（30.7%）」、「1週間未満（14.8%）」でした。

Q 病気の発見経緯をお選びください。（N = 9,067 / 単一回答）

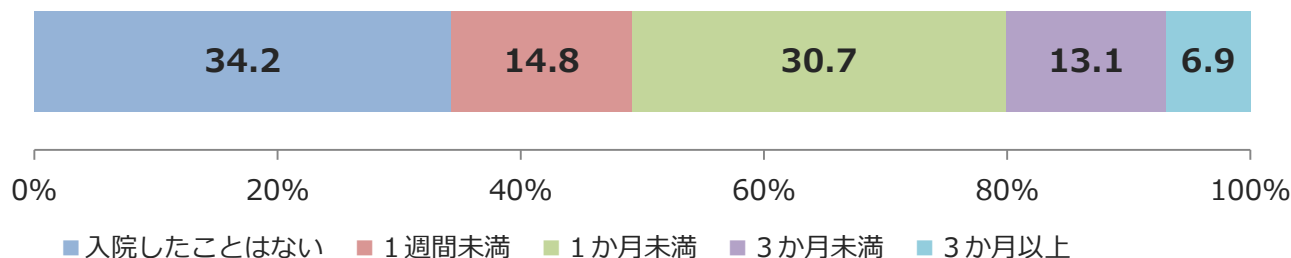


Q これまでに受けた治療内容として、あてはまるものをすべてお選びください。（N = 9,067 / 複数回答）



Q これまでに入院をした期間として、あてはまるものをお選びください。（N = 9,067 / 単一回答）

* 複数回入院された方は、最も長かった入院期間についてお答えください。



調査結果 | 病気と治療に関すること②

- ・薬物治療期間の上位3つは「10年以上（20.4%）」、「1年以上（17.0%）」、「5年以上（14.5%）」でした。
- ・処方頻度（通院回数）は「月に1回未満」が最も多く（44.3%）、「月に1回（39.1%）」と合わせて80%以上となっています。

Q 薬物治療で使用した薬の種類について、あてはまるものをお選びください。
（N = 6,052／複数回答）（単位：%）

疾病	薬剤例※1	割合
がん	抗がん剤※2	57.1
心疾患	抗血栓薬（アスピリン以外）	38.7
脳血管疾患	抗血栓薬（アスピリン以外）	47.8
動脈・静脈疾患	抗血栓薬（アスピリン以外）	47.4
腎疾患	腎炎※3の薬	52.0
肝疾患	ウイルス性肝炎の薬	45.5
膵くすい>疾患	膵炎の薬	72.4
糖尿病	糖尿病の注射薬	53.4
脂質異常症	脂質異常症の注射薬	2.7

<24.4> ※4

<26.9> ※4

<31.1> ※4

※1 複数回答のため、薬剤例1つを掲載。

※2 ホルモン剤含む。

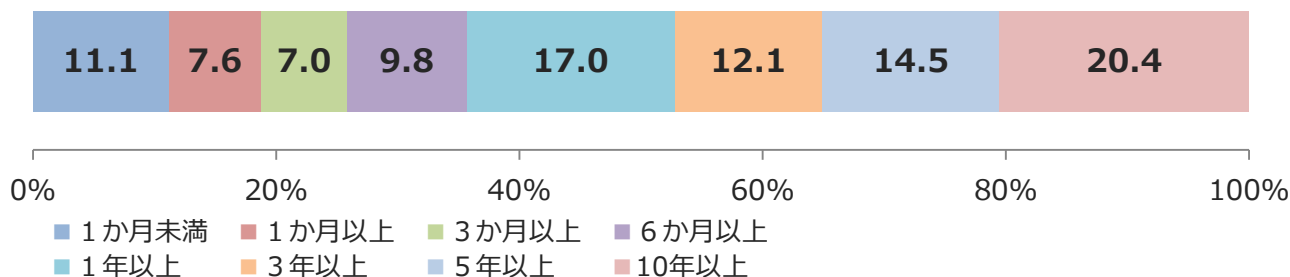
※3 ネフローゼ症候群含む。

※4 <>内は「抗血栓薬（アスピリン）」の割合。

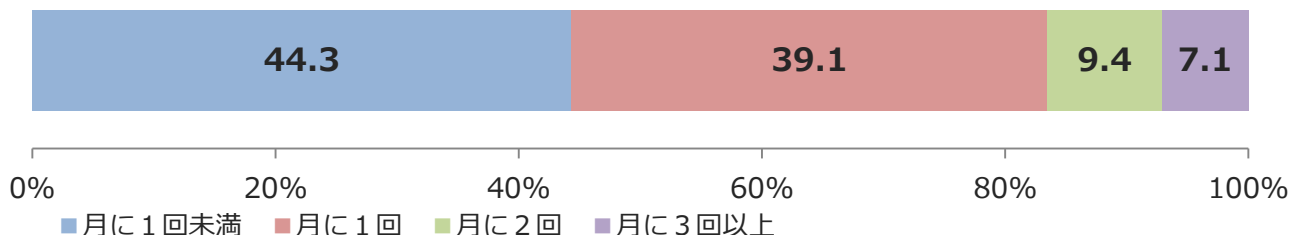
Q 薬物治療をした期間として、あてはまるものをお選びください。
（N = 6,052／単一回答）

* 長期にわたり服用している場合は服用開始から服用終了までの期間についてお答えください。

* 途中で服用を中断した期間がある場合は、中断した期間を除いた期間の合計でお答えください。



Q 薬物治療について、月々の薬の処方頻度（通院回数）について、あてはまるものをお選びください。（N = 6,052／単一回答）

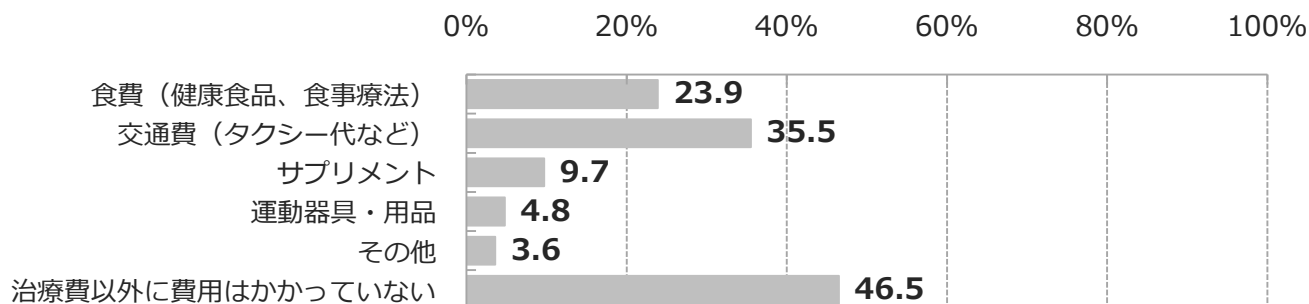


調査結果 | お金と仕事に関すること①

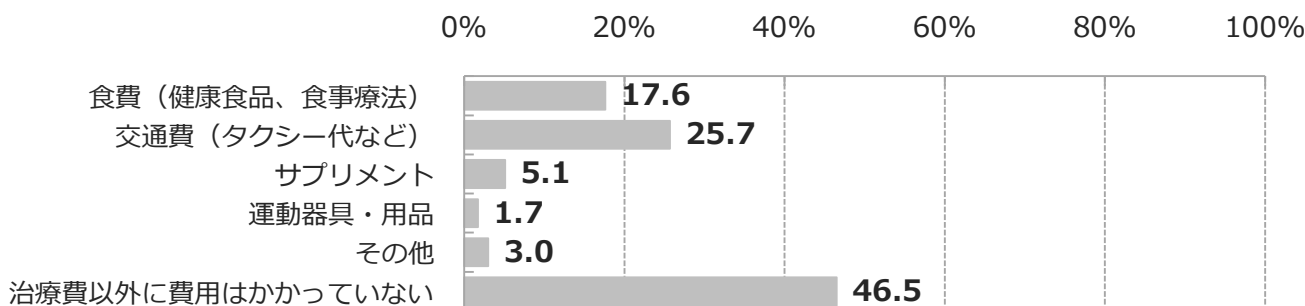
- ・治療費以外での支出としては、「交通費（35.5%）」や「食費（23.9%）」、「サプリメント（9.7%）」が大きくなっています。
- ・治療費およびその他の費用を負担に感じている（感じていた）方が60%を超えています。（非常に負担24.9%、やや負担41.6%）

Q 治療費以外で費用がかかっている（かかった）ものをすべてお選びください。
また、お選びいただいたものの中で、最も費用がかかっている（かかった）ものを
ひとつだけお選びください。（N = 9,067 / （1）複数回答、（2）単一回答）

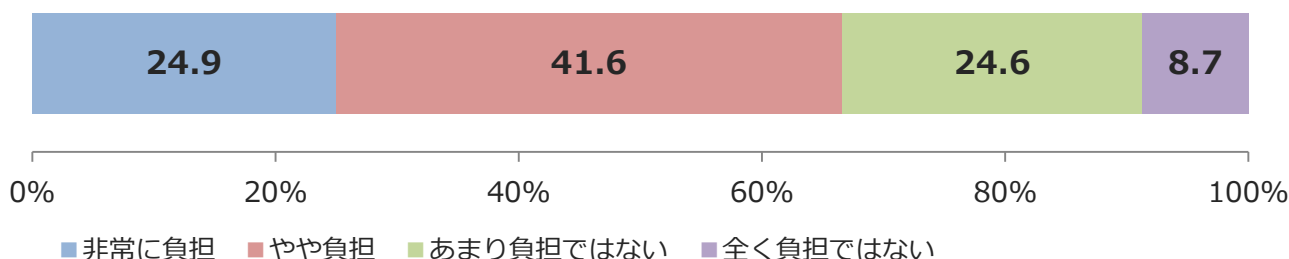
（1）費用がかかっている（かかった）もの



（2）もっとも費用がかかっている（かかった）もの



Q 治療のためにかかっている（かかった）治療費及びその他の費用について、
あなたはどの程度負担を感じていますか（感じていましたか）。
（N = 9,067 / 単一回答）



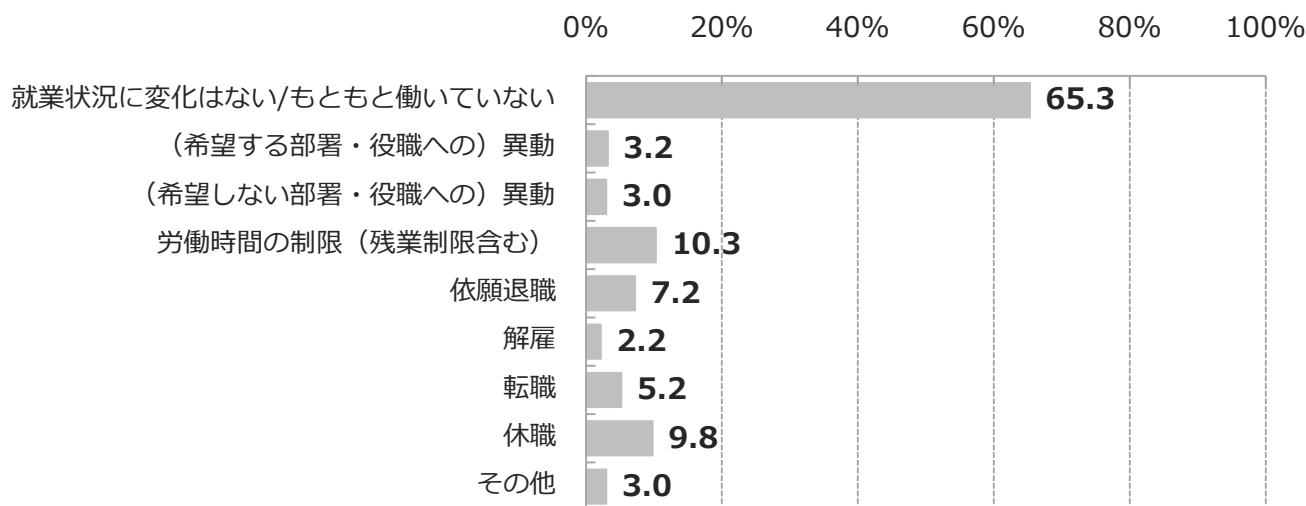
調査結果 | お金と仕事に関すること②

・労働時間の制限（残業制限含む）を受けた方が10.3%、休職をされた方が9.8%など、約31%の方の就業状況に変化※がありました。

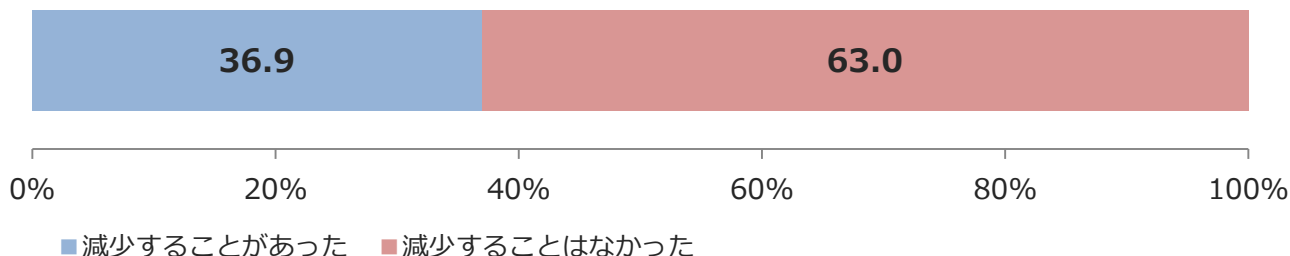
※「異動」「労働時間の制限」「依願退職」「解雇」「転職」「休職」のいずれか。

・個人年収、世帯年収が減少した方も36.9%いるという結果となっています。

Q 病気にかかる前、病気の初期段階から現在までに、病気を原因としてあなたの就業状況に変化はありましたか。変化があった方は、その変化としてあてはまるものをすべてお選びください。
(N = 9,067 / 複数回答)



Q 病気にかかる前から現在までにあなたの個人年収、世帯年収が減少することはありましたか。あてはまるものをひとつだけお選びください。
(N = 9,067 / 単一回答)



調査結果 | 生命保険に関すること①

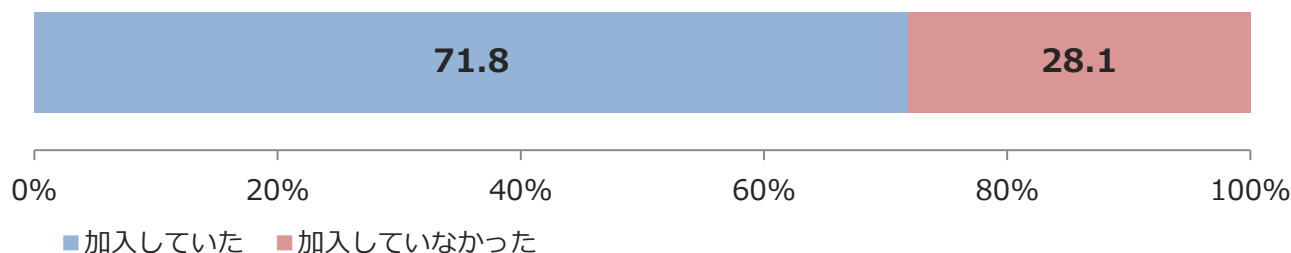
・70%以上の方が生命保険にご加入されていましたが、「給付はなかった方（34.4%）」や、あったとしても十分でなかった方（やや不足21.7%、不足12.7%）が30%を超える結果となっています。

・つまり、加入中の生命保険では不足と答えた方が50%を超えていることがわかります※。

※生命保険加入者において、「給付はなかった」「やや不足」「不足」の割合

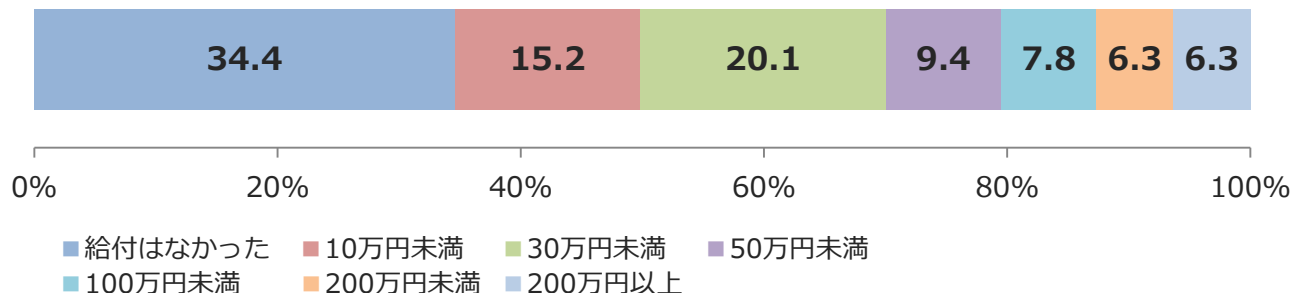
Q 病気にかかったとき、あなたご自身は生命保険（医療保険など）に加入していましたか。（N = 9,067／単一回答）

* 複数回病気にかかったことがある方は、最初の病気にかかる前についてお答えください。



Q 病気の治療を通じて、生命保険（医療保険など）によってどの程度の金額が給付されましたか。（N = 6,515／単一回答）

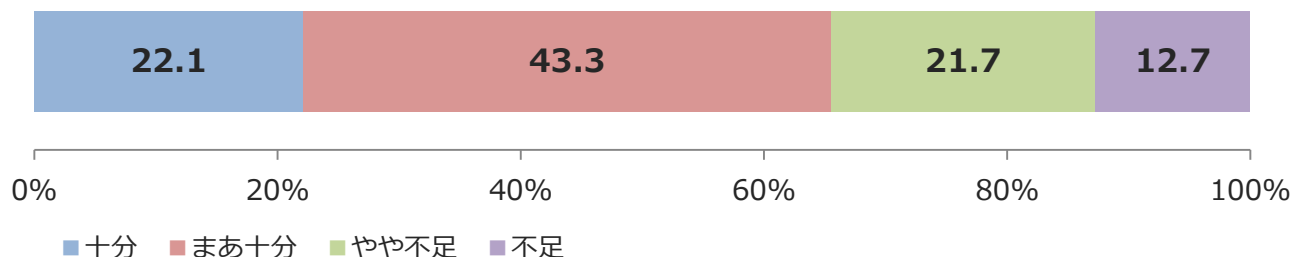
* 複数回給付を受けた方は、合計金額についてお答えください。



Q 生命保険（医療保険など）による補填額は、あなたにとって十分な金額でしたか。（N = 4,269／単一回答）

* 前問の生命保険の給付金について、お答えください。

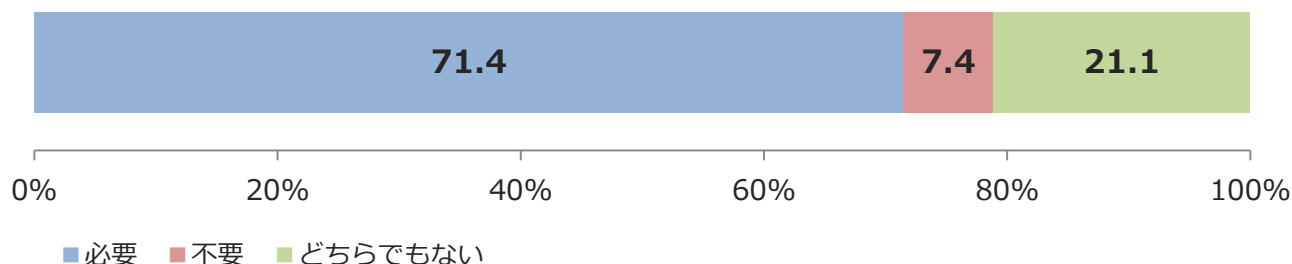
* 複数回補填を受けた方は、個別の補填ではなく、全体を顧みてお答えください。



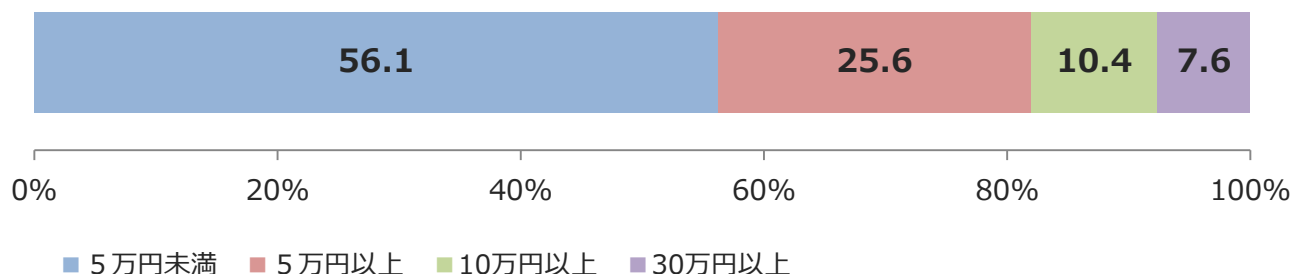
調査結果 | 生命保険に関すること②

- ・「薬物治療」に対して給付される生命保険（医療保険など）の必要性を感じている方が70%を超える結果となっています。
- ・『せめてでも欲しかった』金額（月々）の上位3つは、「5万円未満（56.1%）」、「5万円以上（25.6%）」、「10万円以上（10.4%）」となっています。

Q 生活習慣病に対する「薬物治療」は比較的、長期にわたって治療を続けるケースもあります。これら「薬物治療」に対して給付される生命保険（医療保険など）は必要だと思いますか。（N = 9,067／単一回答）



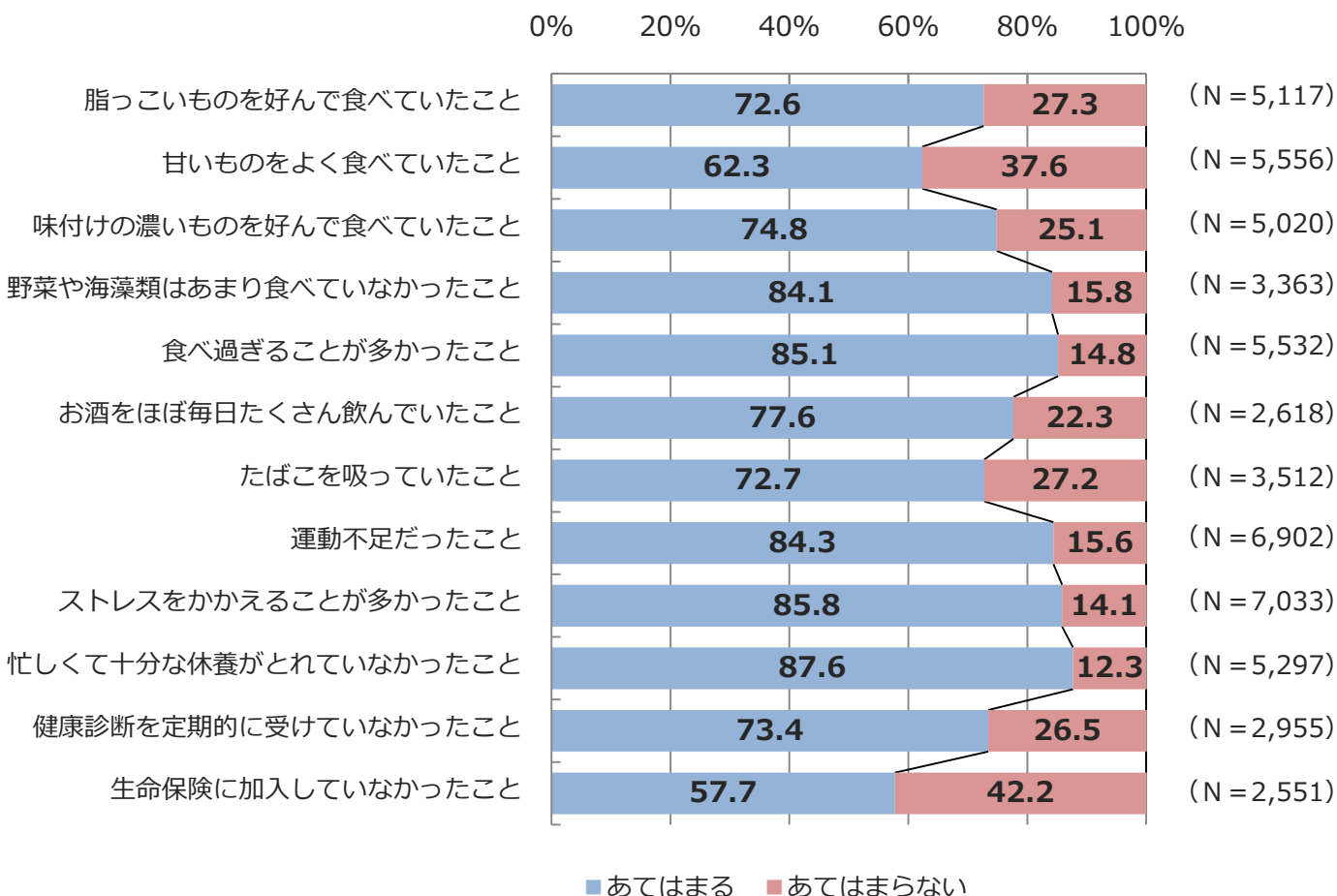
Q 病気の治療を通じて、月々どれくらいの金額が『せめてでも欲しかった』と思いますか。（N = 9,067／単一回答）



調査結果 | ご自身に関すること①

- ・今思うと「やめておけばよかった・やっておけばよかった」「改善すればよかった」と思うことに関しては、生活習慣（食事・喫煙・飲酒・運動）や休養、健康診断の受診、生命保険への加入のいずれもが50%を超える結果となっています。

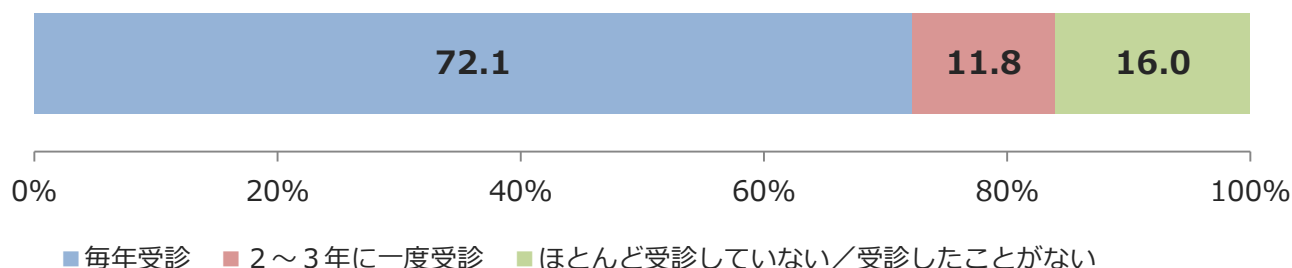
Q あなたが、今思うと「やめておけばよかった・やっておけばよかった」「改善すればよかった」と思うことはありますか。
以下の項目それぞれについて、あてはまるものをお選びください。（単一回答）



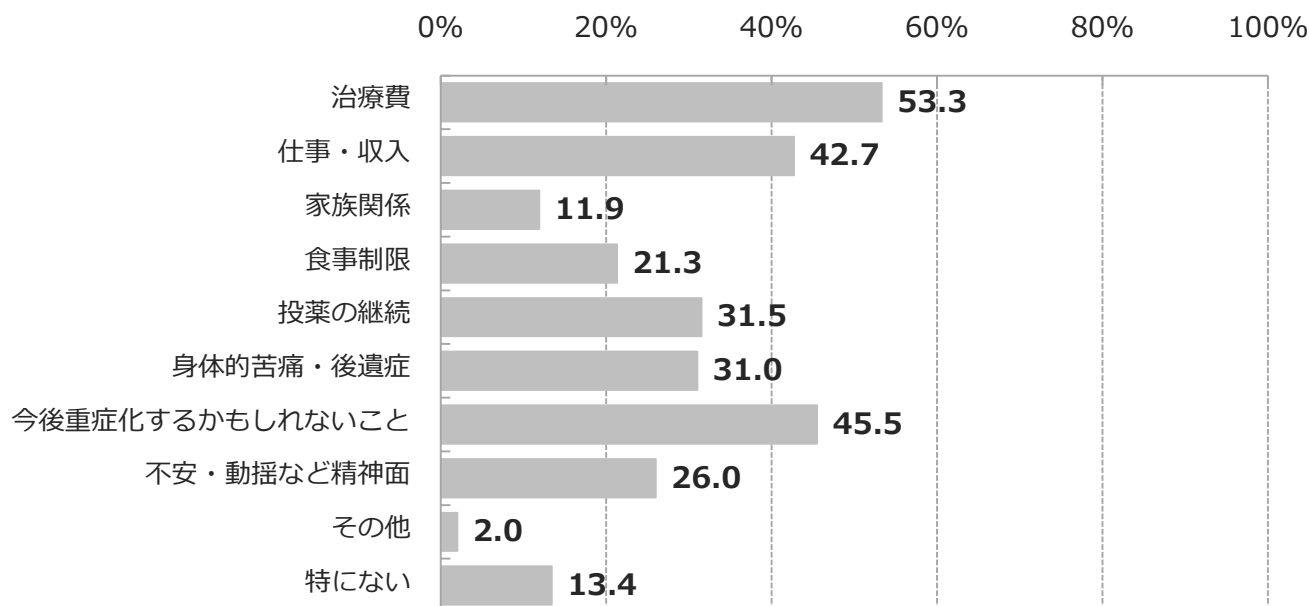
調査結果 | ご自身に関すること②

- ・健康診断を毎年受診している方が72.1%と多く、2～3年に一度受診している方（11.8%）と合わせて80%を超える結果となっています。
- ・不安に思うことや困っていることとしては、「お金と仕事に関すること（治療費53.3%、仕事・収入42.7%）」や「病気と治療に関すること（今後重症化するかもしれないこと45.5%、投薬の継続31.5%、身体的苦痛・後遺症31.0%）」が多くなっています。

Q 健康診断の受診状況について、あてはまるものをお選びください。
（N = 9,067 / 単一回答）



Q あなたの病気に関して、不安に思うことや困っていることはありますか。
あてはまるものをすべて選びください。（N = 9,067 / 複数回答）



調査概要

調査名称 メディケア生命「2018年 9 疾病患者へのアンケート調査」

調査対象 マクロミルのモニター会員を母集団とする「9 疾病※を経験した男女（20歳以上）」

調査期間 2018年9月21日～2018年10月19日

調査方法 インターネットリサーチ

調査地域 全国

有効回答数 9,067名

調査委託先 株式会社マクロミル

※がん、心疾患、脳血管疾患、動脈・静脈疾患、腎疾患、肝疾患、痔<すい>疾患、糖尿病、脂質異常症

*このニュースリリースに記載の数値は小数点第2位以下を切り捨てているため、合計が100%とならない場合があります。

回答者の属性

(1) 性別

男性	55.2
女性	44.7

(2) 年齢

20代	3.6
30代	11.4
40代	26.9
50代	44.2
60代以降	13.7

(3) 居住地域

北海道	5.6
東北地方	6.1
関東地方	34.5
中部地方	16.1
近畿地方	19.8
中国地方	5.2
四国地方	2.9
九州地方	9.5

(4) 未婚既婚

未婚	31.5
既婚	68.4

(5) 子供の有無

なし	40.0
あり	59.9

(6) 世帯年収

200万円未満	3.7
400万円未満	21.1
600万円未満	21.8
800万円未満	16.0
1000万円未満	10.9
1000万円以上	12.8
わからない	6.4
無回答	7.0

(7) 職業

公務員	5.5
経営者・役員	3.9
会社員(事務系)	15.1
会社員(技術系)	12.2
会社員(その他)	19.5
自営業	9.7
自由業	3.8
専業主婦(主夫)	22.3
その他	7.5

(8) 疾病

がん	14.7
心疾患	13.6
脳血管疾患	12.9
動脈・静脈疾患	7.9
腎疾患	12.4
肝疾患	13.0
痔<すい>疾患	3.0
糖尿病	13.4
脂質異常症	8.6

* 単位：％

本件に関するお問合せ先

【お客さま】メディケア生命 コールセンター
【報道関係者さま】メディケア生命 経営管理部

0120-315056
03-5621-3367



メディケア生命保険株式会社
住友生命グループ